

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月21日			
平成16年度	事業コード	12210	電話	042-769-8344
担当部課名	保健所	地域保健	課	成人保健企画 班
事務事業名	市民健康づくり推進事業			
予算上の事務事業名	楽しむ健康づくり推進事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	15年度
施策名	第1施策	自ら行う健康づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

厚生労働省の「健康日本21」、健康増進法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
個人、家庭、地域社会が一体となって、市民が気軽に楽しく健康づくりに取り組んでいけるよう「市民総ぐるみ健康づくり運動」を推進する。 具体的には、健康づくりキャンペーンの実施、自分自身の健康度のチェック、気軽にできる運動による健康増進、栄養・食生活の改善による健康増進の4つを柱に、市民一人ひとりに「自らの健康は自らつくる」という意識付けを図ることにより、すべての市民が豊かな健康ライフを送れることを目的とする。	市民
	対象数 単位
	620,551 人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1 健康づくりキャンペーンの実施 (1)市民若葉まつりにおける健康・体力コーナー 参加者994人 (2)駅頭における街頭キャンペーンの実施 約2,200人に周知	
2 健康度評価(ヘルスアセスメント)事業の実施 実施者391人	
3 気軽にできる運動による健康増進 (1)市民ウォーキング大会における取り組み 参加者800人 (2)体操講習会の開催 参加者のべ750人	
4 朝食レシピコンテストの開催 応募27作品 など	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 健康づくり地域モデル事業	地域に根ざした健康づくりを推進するため、地域を選定し、具体的なテーマを決めた上で、事業を進める。
計画年次 16年度～	年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	がん検診受診者数	本市が実施する各種がん検診の1年間の受診者数	本市はもちろんのこと全国的にみても死因のトップはがんである。市が実施するがん検診を積極的に受診してもらうことにより、疾病予防による健康増進を図る。	35,676	64,170	66,940 (2月末現在)	70,000	72,000
	体操講習会の参加人数	市が実施する気軽にできる体操講習会の参加人数	運動面から健康づくりを推進するために「みんなの体操」をはじめとする気軽にできる体操講習会へ参加してもらい、健康増進を図る。			750	1,000	1,500

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費					
	合計	0	0	814	1,500	1,500
	特定財源					
	対象数(人)			620,551	620,551	620,551
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	1.3	2.4	2.4

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	個別指標でみる限りは達成しているといえるが、健康づくり事業は様々な要素を含む総体的な取り組みが必要であるため、すべての市民が豊かな健康ライフを送れているとは言い難い。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 健康でありたいという願いは万民共通のものである。そのような市民や社会のニーズに十分適応している施策である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	厚生労働省の「健康日本21」、健康増進法の趣旨に適応し、その目的達成のために有効な施策である。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 財政難の折、創意工夫の上、低コスト・少人数で効率的な活動ができた。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象を市民全員としているため、不公平・不均衡は生じない。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
健康づくりは、市民一人ひとりの取り組みになるため、市民組織「さがみはら市民健康づくり会議」と連携を図りながら、情報提供や受け皿事業の整備を進め、地域に根ざした事業を推進することにより、より一層の成果の向上を図る。 また、他事業と連携を図ることにより、相乗効果や費用対効果の面で向上が期待できる。		健康づくり事業は、その取り組みにより、すぐに結果が出るものではないため、今後も地道な活動が必要である。 今後は、取り組みが地域に根ざしたものとするために、住民生活にいかにか密着した事業展開が図れるかが鍵となる。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		近隣市では座間市が「健康なまちづくり事業」を実施している。内容は、運動、食生活、健康チェック、情報提供、環境整備などの面から市民の健康づくりを推進することにより、まちづくりにつなげていこうという事業である。総事業費は566,000円。座間市の人口128,740人(平成16年1月1日現在)で換算すると一人当たりの経費は4.4千円となり、本市の一人当たりの経費1.3千円と比較した場合3倍以上のコストがかかっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	個別評価にみられるようにどの項目も成果をあげている。 ただし、健康づくり事業は数値で測りきれない部分があり、また、すぐに結果が出るものではないため、今後も継続した地道な活動が必要である。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--